

第10回 日本末梢神経研究会 プログラム

<特別講演>

軸索ガイダンスを制御する分子

<主 題>

- I 末梢神経生検
- II 末梢神経再生
- III 免疫性ニューロパチー：成因，臨床，治療

<トピックス>

- I Perineurial Window - 実験モデルと臨床例について
- II Sensory Reeducation

<産業医学>

二硫化炭素中毒による末梢神経障害

会 長： 祖父江 逸 郎
学術研究会会長： 植 村 慶 一

日 時：1999年 8月28日（土）9:00～17:45

場 所：慶應義塾大学病院 新棟11階大会議室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

TEL:03-3353-1211 (代表)

第10回学術研究会事務局：慶應義塾大学医学部 生理学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

TEL:03-5363-3747 FAX:03-3357-5445

プログラム

主題Ⅰ：末梢神経生検

[9:00-10:20]

座長：日本大・医・整形外科 佐藤 勤也
産業医大・神経内科 大西 晃生

1. 腓腹神経有髄線維と感覚神経活動電位の相関 —正常神経および障害された神経—
陣内病院・神経内科 永木 譲治
2. 腓腹神経の組織計測学的所見と臨床所見との相関
産業医大・神経内科 山本 辰紀、大西 晃生
3. 末梢神経系の免疫組織学的所見と臨床応用
東京都立神経病院・神経内科 宮本 和人
4. 末梢神経障害の分子病態
名古屋大・医・神経内科 山本 正彦、祖父江 元

トピックスⅠ

[10:20-10:50]

座長：京都府立医大・整形外科 平沢 泰介

Perineurial Window —実験モデルと臨床例について

慶應大・医・整形外科 高山 真一郎

指定討論：京都府立医大・整形外科 岡島 誠一郎

トピックスⅡ

[10:50-11:10]

座長：東北中央病院 桜井 実

Sensory Reeducation

埼玉県立大・保健医療福祉・作業療法 中田 真由美

特別講演

[11:10-12:00]

座長：慶應大・医・生理 植村 慶一

軸索ガイダンスを制御する分子

名古屋大・生物科学・神経発生 藤澤 肇

昼休み [12:00-13:00]

世話人会開催

研究会からのお知らせ [13:00-13:10]

会長 愛知医大 祖父江 逸郎

産業医学：

[13:10-13:30]

座長：名古屋大・医・衛生 竹内 康浩

二硫化炭素中毒による末梢神経障害

慶應大・医・公衆衛生 武林 亨、大前 和幸

主題Ⅱ：末梢神経再生

[13:30-16:15]

座長：京都大・医・生体構造 井出 千東

川崎市立病院・整形外科 堀内 行雄

A. 欠損に対する架橋（実験と臨床）

1. 選択的免疫抑制を用いた同種神経移植による神経欠損の架橋
慶應大・医・整形外科 仲尾 保志
2. 神経再生用チャンネルを用いた神経欠損の架橋
京都大・医・形成外科 鈴木 義久、西村 善彦
3. シリコンチューブを用いた神経欠損の架橋
島根医大・整形外科 岩田 淳、越智 光夫

4. Step stone nerve graft による神経欠損の架橋

東海大・医・整形外科 岡 義範

5. Nerve regeneration through detergent-treated muscle basal laminae tubes.

京都大・医・生体構造 Nuru Mliglishe、井出 千束

6. 神経端側吻合を用いた神経欠損の再建

三重大・医・整形外科 平田 仁

B. 公募演題

1. 軸索変性・再生時のシュワン細胞における Dystroglycan と Laminin-2 の発現

帝京大・医・神経内科 松村喜一郎、斉藤史明、砂田芳秀、清水輝夫
防衛医大・第3内科 真先敏弘、鎌倉恵子

2. 神経支配領域の慢性炎症病変が圧挫損傷後の神経回復に及ぼす影響について

防衛医大・整形外科 加藤直樹、根本孝一、川口雅久、尼子雅敏
有野浩司、菊池寿幸、富士川恭輔

3. Brain derived neurotrophic factor (BDNF)による Schwann 細胞 myelin 糖脂質の変化

東京医歯大・医・神経内科 山脇正永、神田 隆、水澤英洋
長寿研 道川 誠
神経研 渡部和彦

4. 筋芽細胞を用いた軸索再生誘導

三重大・医・整形外科 森田哲正、平田 仁、松本 衛
佐々木浩樹、大萱誠司、内田淳正

5. 神経幹内微小神経電図法による手根管症候群開放術前後の電気生理学的経過観察

横浜市民病院・神経内科 飯野光治
横浜市大・医・神経内科 長谷川修

主題Ⅲ：免疫性ニューロパチー：成因，臨床，治療（公募）

【16:15-17:45】

座長：京都専売病院 西谷 裕
北里大 古和 久幸

1. IgM 抗 GalNAc-GD1a 抗体陽性 Guillain-Barré 症候群の臨床的特徴

防衛医大・第3内科 海田賢一、鎌田恵子 京大 東京大 医 神経内科 楠 進、金澤一郎

2. 四肢遠位部自発痛が著明であった失調型 AIDP の1例

山口大・医・神経内科 川井元晴、小早川節、根来 清
小笠原淳一、野垣 宏、森松光紀

3. 四肢筋萎縮を主徴とし、経過中に抗 MAG 抗体、IgM-M 蛋白血症が明かとなった

ニューロパチーの一例

北里大・東病院・神経内科 岡宮 聡、室賀千英子、荻野 裕
荻野美恵子、斉藤豊和、坂井文彦

4. 慢性炎症性脱髄性多発性神経炎症例における血漿交換療法単独有効例での単線維筋電図

市立札幌病院・神経内科 松本昭久、川嶋乃里子、藤木直人

5. Vasculitic neuropathy の臨床像・末梢神経病理像・ANCA 陽性群と陰性群の比較

大分医大・第3内科 森 敏雄、熊本俊秀、津田富康
永富脳外科病院・神経内科 森美由紀

6. 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー(CIDP)および血管炎性ニューロパチーの神経伝導

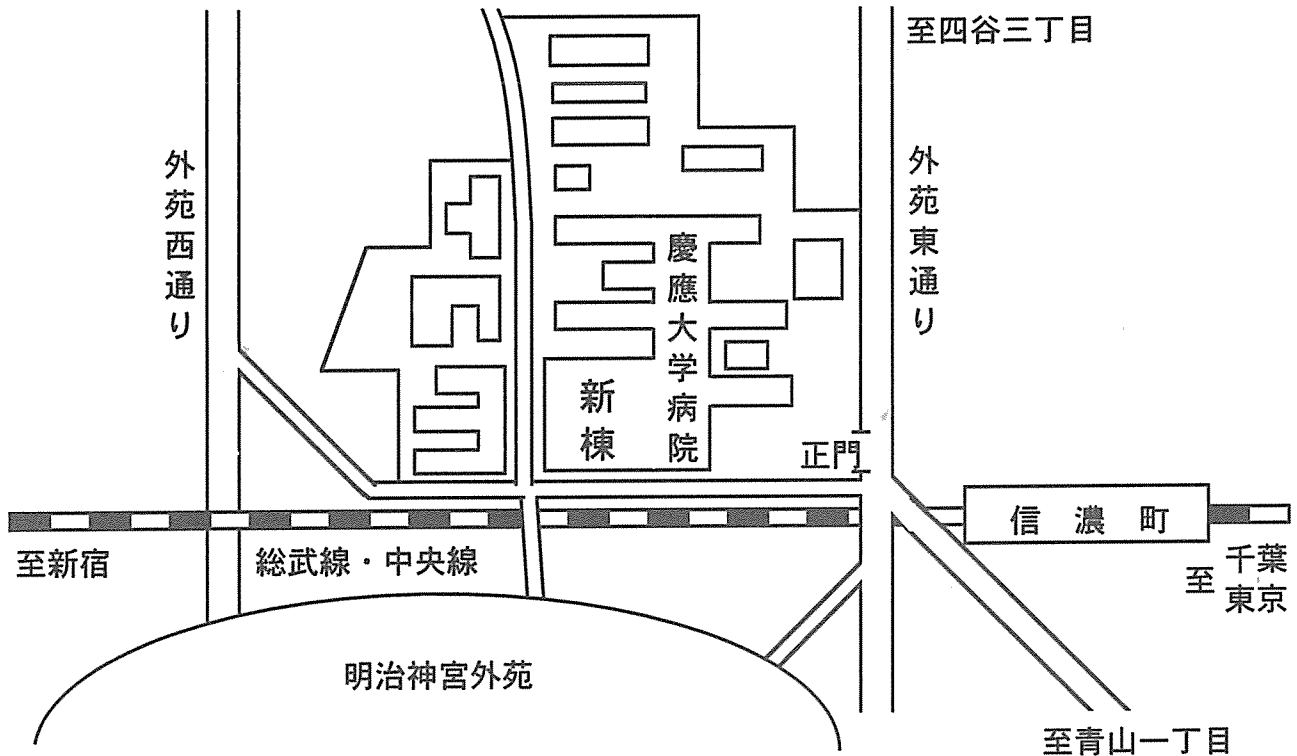
検査所見の特徴

横浜市大・医・神経内科 長谷川修
横浜市民病院・神経内科 飯野光治
東松戸病院・神経内科 松本俊介

慶應義塾大学病院新棟 11F 大会議室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 TEL: 03-3353-1211(代表)

会場案内図



【交通案内】

- JR ・ 総武線「信濃町」駅下車、徒歩約1分
- 地下鉄 ・ 丸の内線「四谷三丁目」駅下車、徒歩約15分
・ 半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車、徒歩約15分
- 都営バス ・ 新宿駅西口ー田町駅東口(田70)「信濃町駅前(慶應病院前)」下車
・ 四谷駅一品川車庫(四97)「信濃町駅前(慶應病院前)」下車

参加者の方へ

- ※会場整理・参加費として2,000円を会場受付にてお支払い下さい。
- ※スライド映写はすべて単写とします。
- ※参加は日本神経学会認定更新単位2単位が認められます。当日登録手続きをして下さい。
- ※世話人会を昼休み時間に行います。

日本末梢神経研究会
会長 祖父江 逸郎

事務局 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
産業医科大学神経内科 担当 大西 晃生
TEL: 093-691-7438
FAX: 093-693-9842